

2023年12月7日

通貨ニュース

OECD 景気先行指数：世界経済は、来年中ごろには回復局面へ

12月6日、OECD(経済協力開発機構)は11月分のCLI(景気先行指数、Composite leading indicator)を公表した。景気循環の転換点の兆候を早期に捉えるための指標であり、先行期間は6~9か月とされている。また、サンプルから外れ値を除去したのちに、それらを標準化することで算出される長期平均(≒中立水準)を100としている。すなわち、100以上は景気拡大、100以下は景気縮小局面を意味する。OECDによれば、G20のCLIは+0.09%上昇した(図表1、2)。13か月連続の上昇であり、4か月連続での長期平均超えだ。また、G7(+0.04%)も12か月連続で上昇。以下、地域別に確認する。

アメリカ大陸は、良好な結果だった(図表1、3)。メキシコ(+0.09%)は13か月連続で、ブラジル(+0.05%)は9か月連続で、米国(+0.02%)は9か月連続でそれぞれ上昇した。一方で、カナダ(▲0.01%)は28か月連続で低下した。

欧州圏は、底堅い結果となった(図表1、2、4)。欧州主要4か国のCLIは、+0.07%と4か月連続で上昇した。個別国では、英国(+0.19%)は14か月連続で、ドイツ(+0.05%)は前月に続きそれぞれ上昇した。

アジア・オセアニアは、中国の力強さが目に付く(図表1、5)。中国(+0.29%)は15か月連続で、韓国(+0.10%)は9か月連続でそれぞれ上昇した。一方、インドネシア(▲0.06%)は3か月連続で低下した。

中東・アフリカは軟調な結果となった(図表1、6)。トルコ(▲0.24%)は7か月連続で、南アフリカ(▲0.09%)は21か月連続でそれぞれ低下した。

G20のCLIは、上述の通り13か月連続で上昇を見せており、どこまで上昇基調を継続できるかに注目が集まる。むしろ、今後はいつ景気の「山」を迎えるかにも注意を払う必要があるだろう。具体的に確認すれば、8月に1年半ぶりの長期平均超えを記録した後も、3か月連続で水準を切り上げている。CLIの推移を確認する限りにおいては、世界経済は2023年10~12月期から2024年1~3月期にかけて底を打った後で、緩やかな回復局面に回帰する、といった流れが想定される。そのほか、国・地域別に確認すると、東アジアの持ち直しが目立っている。中国に関しては、CLIの水準としては群を抜いて高い状態を保っている。各種経済統計からも景気の持ち直しが示唆される中、当局の目標である、本年の前年比+5.0%の成長目標は達成できそうだ。なお、年末に近づく中で、消費支援策を打ち出す動きが全国で拡がりつつある。欧州はすでに景気失速が鮮明で、米国も今後一定の景気減速が予見される中、来年にかけての世界経済の支え役は中国になりそうだ。なお、韓国に関しても、CLIは22年6月以来の長期平均超えまであと僅かだ。半導体市場の回復が予見される中、半導体価格も底打ちしている。同国の半導体輸出額も持ち直しつつあり、中国経済の回復に加え、半導体サイクルの回復も、経済の先行き懸念を後退させているものと考えている。

金融市場部
長谷川 久悟

03-3242-7065

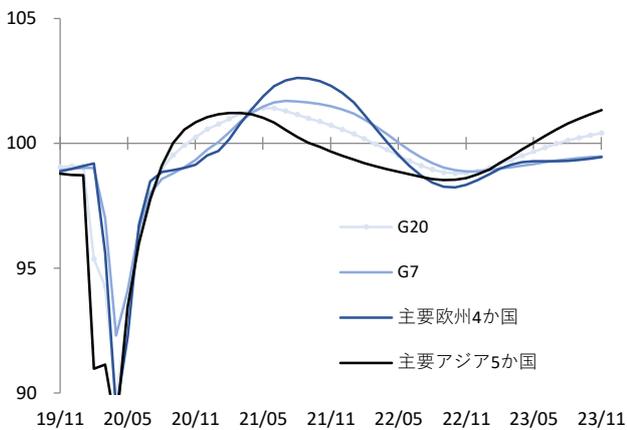
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

図表 1: OECD 景気先行指数の推移

OECD景気先行指数	(長期平均=100)								
	23年04月	23年05月	23年06月	23年07月	23年08月	23年09月	23年10月	23年11月	前月比(%)
G20	99.5	99.7	99.8	100.0	100.1	100.2	100.3	100.4	0.09
G7	99.1	99.2	99.2	99.3	99.4	99.4	99.4	99.5	0.04
主要欧州4か国	99.2	99.3	99.3	99.3	99.3	99.3	99.4	99.4	0.07
主要アジア5か国	99.8	100.0	100.3	100.6	100.8	101.0	101.2	101.3	0.17
米国	98.9	99.0	99.2	99.3	99.4	99.5	99.5	99.5	0.02
カナダ	97.9	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	▲ 0.01
ブラジル	99.7	99.9	100.0	100.1	100.2	100.2	100.3	100.3	0.05
メキシコ	100.6	100.7	100.7	100.7	100.7	100.8	100.8	100.9	0.09
ドイツ	99.7	99.5	99.3	99.1	99.0	99.0	99.0	99.0	0.05
フランス	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7	98.8	98.8	0.00
イタリア	99.1	99.1	99.0	99.0	98.9	98.9	98.9	98.9	0.03
スペイン	99.2	99.3	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	0.01
英国	99.2	99.6	99.9	100.2	100.4	100.6	100.8	101.0	0.19
日本	100.0	100.0	100.0	100.0	100.1	100.1	100.1	100.1	0.01
オーストラリア	99.0	98.9	98.8	98.7	98.7	98.6	98.6	98.6	0.01
中国	99.9	100.3	100.8	101.2	101.6	102.0	102.3	102.6	0.29
韓国	98.6	98.9	99.1	99.3	99.5	99.6	99.7	99.8	0.10
インド	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	▲ 0.00
インドネシア	99.2	99.3	99.4	99.5	99.6	99.5	99.5	99.4	▲ 0.06
南アフリカ	99.8	99.6	99.4	99.3	99.2	99.1	99.0	98.9	▲ 0.09
トルコ	100.4	100.3	100.2	99.9	99.7	99.4	99.1	98.9	▲ 0.24

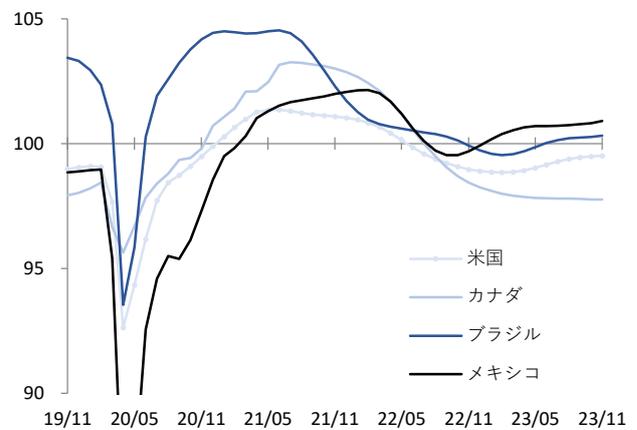
資料: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行
 ※それぞれ四捨五入で記載している
 ※主要欧州4か国はフランス、ドイツ、イタリア、英国
 ※主要アジア5か国は中国、インド、インドネシア、日本、韓国

図表 2: G20、G7、主要欧州4か国、主要アジア5か国



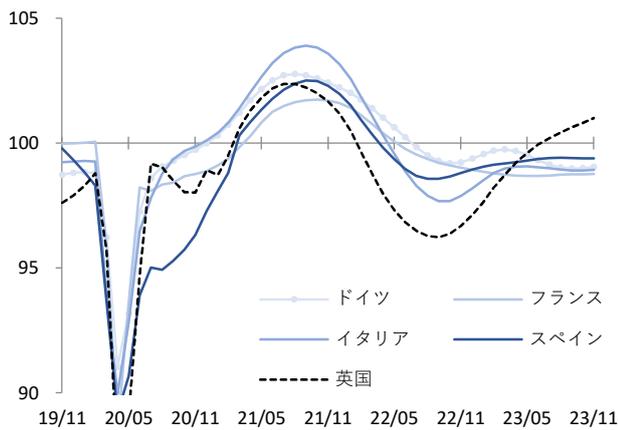
出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行
 ※コロナ期の下限は意図的にカットしている。以下図も同様。

図表 3: アメリカ大陸



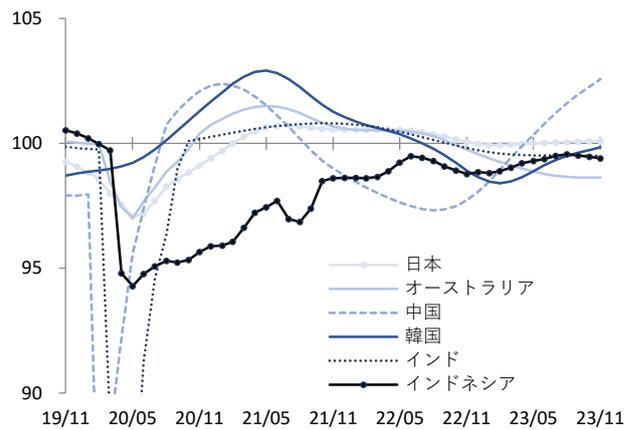
出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 欧州圏



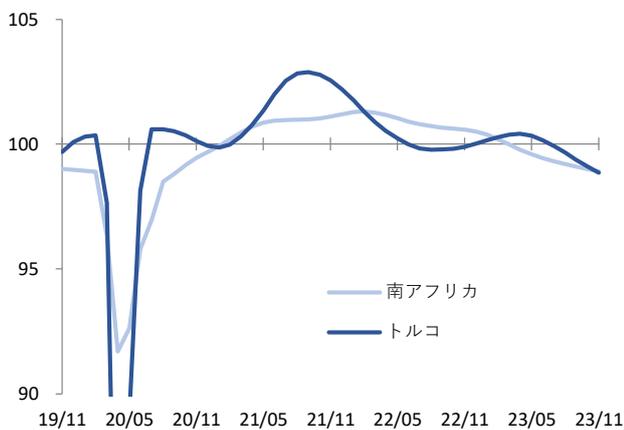
出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: アジア・オセアニア



出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: 中東・アフリカ



出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。